

2023年3月29日

各位

三井住友銀行より「SDGs 推進融資」の実施について

扶桑薬品工業株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：戸田幹雄）は、当社の主力製品である人工腎臓用透析剤の安定供給体制を拡充するため、2022年8月4日に粉末型透析剤製造設備の増強に関するお知らせをいたしました。今般、当社の事業活動がSDGs[※]の目標達成に向けた貢献が期待できると判断され、当該設備への投資に対して株式会社三井住友銀行（本店：東京都千代田区、頭取 CEO：高島誠、以下「三井住友銀行」といいます。）から「SDGs 推進融資」を受けましたのでお知らせいたします。



「SDGs 推進融資」は、融資実行時に三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（本社：東京都品川区、代表取締役社長：谷崎勝教）が、企業のSDGsに関する現状の取組や、本業との関連性を分析し、今後のSDGsの取組推進に向けたアドバイス等を提供するものです。

当社が評価を受けた取組みは以下の通りです。

取組み①

安全で質の高い生殖補助医療用製品の開発・製造・販売や、人工腎臓用透析剤等の基礎的な医薬品の安定供給を通じた、人々の健康、安全・安心への貢献

- 安全で質の高い生殖補助医療用製品の開発・製造・販売を通じて、生殖に関する保健サービスの普及に貢献



3.7

2030年までに、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスを全ての人々が利用できるようにする。

- 不妊治療の成功率の向上により、妊娠出産の希望が叶い、生き生きと社会で活動する女性が増えることへの期待



5.5

政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。

- 大規模な製造設備や配送センターの分散設置により、災害発生時などの緊急時でも人工腎臓用透析剤等を安定供給し、人々の生命や安全・安心を守る


3.8

全ての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する。

取組み②

ボイラーの燃料転換による CO2 排出削減や包材のプラスチック削減検討を通じた環境負荷削減

- 茨城工場で使用するボイラー燃料を重油から都市ガスに転換することで、石油資源の使用量を減らし、工場からの CO2 排出量を 30%削減（他工場は既に転換済であり、全体として約 20%の削減）


13.2

気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。

- 製品パッケージに環境配慮型の素材を導入することで、包装用のプラスチックの使用量や廃棄プラスチック等の削減を検討


12.4

2020 年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。

当社は引き続き、持続可能な社会の実現のため、社会課題の解決に向けた取組みを加速させてまいります。

※持続可能な開発目標（SDGs : Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。（外務省ホームページより）

三井住友銀行のプレスリリース

https://www.smbc.co.jp/hojin/financing/sustainable/pdf/230227_03.pdf

以 上

<お問合せ先> 扶桑薬品工業株式会社 総務本部総務部 TEL : 06-6969-1131